

2024. 08. 01

No.007

北千住営業統括センター分会 分会情報 No. 06 2024年7月26日

フロント

発行責任者 笹島 隆史
北千住営業統括センター分会
三河島駅 北千住駅 金町駅

「みどりの窓口復活！」会社から提案を受ける！

会社は、2024年7月23日「2024年度営業関係施策（その1）について」を労働組合に提案しました。今施策によって、北千住駅の臨時窓口が常設化となります。窓口閉鎖が相次ぎ、サービスが低下している状況下、みどりの窓口復活は成果であることを確認しましょう！

一方で、昨今の状況をつくり出したのは、労働組合を排除し強引に施策を進めた会社にあることを忘れてはなりません！事あるごとに会社は、「会社の責任において実施する」「サービスは低下ない」「団体交渉を蔑ろにするきはない」と回答し、労働組合と対立するも施策を進めてきました。このような姿勢を反省しない限りいかなる施策を実施しようとも社員を欺く誤魔化しにすぎません。

新たな施策を説明する前に社員に謝罪するべきだ！

これまでの施策の進め方を反省しないと
同じことの繰り返しではないか！
「実施日に向けて進めていく」
「問題はやりながら改善していく」
「混雑することは想定していない」
などなど。社員の声を聞かず、実施日ありき
で進めていく姿勢は変わらない！



北千住駅みどりの窓口は、「2021年度営業関係施策（その2）について」によって、2022年2月1日に閉鎖となりました。当時、会社は、「グループ経営ビジョン変革2027、駅の変革のスピードアップに向け、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築し、当社グループの持続的成長に繋げていくため」「ICTを活用した商品購入の利便性向上と購入形態の変化を踏まえて、効率的な駅業務体制を構築するために販売体制を見直すものである」と回答し施策を実施しました。

当時の窓口の数は2窓です。バックヤードも広く、現在の NewDays のスペースは駅のスペースでした。

窓口の数は2窓か0が基本的な体制です。1窓では教育ができません。お客さまのスペースも確保しなければなりません。混雑し混乱することが目に見えています。窓口を復活させるならば、バックヤード含めて戻してください！

会社の方針に従うことが正しいとは限らない！

自分たちの価値観も変え、労働組合に結集しよう！

会社は施策の失敗を真摯に受け止め
現場社員に謝罪をするべきだ！